

環境経営方針

基本理念

社会の一員として、食を通じてより良い社会への発展に貢献すると共に、すべての企業活動において、地球環境の保全・向上に積極的、誠実に取り組む。

環境への取組の重点分野

1. 活動、商品、サービスに係る環境側面を常に認識し、環境汚染の予防、環境負荷の低減を推進するとともに環境経営の継続的改善を図る。
2. 環境関連法規等を遵守する。必要に応じて自主管理基準を設け、1年に1回内部監査を実施し、遵守状況の確認及び見直しを行う。
3. 事業活動に伴う環境負荷の低減については、以下を基本として取り組む。
 - ① 消費エネルギーの大半をしめる電力使用量を削減する。
 - ② 水使用量を削減するとともに、基準値を超過する汚濁物質等が外部に流出しないよう予防措置を講じる。
 - ③ 生産過程で発生する残さいは、歩留まり向上により発生抑制するとともに、再生利用を推進する。
 - ④ 化学物質は使用量を把握し、適正管理に努める。
 - ⑤ 商品の保管・物流に関わるエネルギー使用量の把握を行い、削減に取り組む。
 - ⑥ 容器包装は、簡易包装、軽量化等により使用量を削減する。
 - ⑦ 紙資源使用量を削減する。
 - ⑧ 事務用品については、グリーン購入を積極的に行う。
 - ⑨ 冷蔵設備で用いる冷媒について、漏洩を防ぐとともに自然冷媒への変更を推進する。
 - ⑩ 以上に取り組むことにより、二酸化炭素の排出量を削減する。
4. この環境方針の達成のため、年度目標・中長期目標を設定すると共に、部・場所ごとに企業活動に根ざした行動目標を設定し、全従業員で環境活動を推進する。
5. 水産資源をはじめとする生物資源を享受して事業活動を行っていることを自覚し、生物多様性への配慮及び資源の持続的な利用に努める。
6. この組織で働く、または組織のために働く全ての人の環境意識を高め、環境活動に取組むとともに、地域・社会との協調をはかり、積極的な情報開示とコミュニケーションを行う。

2018年4月1日

代表取締役社長 佐藤 理一